２０２２年　　月

«団体»　様

山口県ゆきとどいた教育をすすめる会

ゆきとどいた教育を求める全国署名（教育全国署名）

にご協力ください

日頃からお世話になっております。また、子どもたちの教育条件改善のため、御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

「ゆきとどいた教育を求める全国署名」は、これまで３３年間で４億７千万筆を超える数を集め、父母・保護者、子ども、教職員、国民の願いを国や地方自治体に届け、多くの教育条件整備を実現させてきました。

義務標準法が改正され、約４０年ぶりに小学校全学年での３５人以下学級が前進しました。地方独自の少人数学級も前進しています。しかし、３５人学級でもクラスサイズは大きく、教職員の多忙化も深刻な状況が続いています。国の責任による「２０人学級」を展望した少人数学級のさらなる前進は国民の切実な願いです。また、教員の未配置・未補充の問題はいっそう深刻となっており、改善が必要です。

この間、高等学校就学支援金の私学への拡充や高校生等奨学給付金の増額が行われ、大学生への給付奨学金なども前進するなど、課題もありますが、教育無償化への動きも続いています。

日本の教育機関への公財政支出（2018年度）の対GDP比は2.8％で、OECD諸国の中で最低レベルです。これをOECD諸国平均4.1％まで引き上げれば、小・中・高校の「２０人学級」を展望したさらなる少人数学級の前進や、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備と公立・私学ともに就学前から大学まで教育無償化を進めることが可能となります。教育条件整備が求められている今こそ、この署名の意義と重要性はますます高まっています。

つきましては、趣旨をご理解いただき、下記についてよろしくお取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。

記

（１）教育全国署名運動のスローガン

「子どもたちの笑顔あふれる学校をつくろう！」

「ゆきとどいた今日おイクの実現を目指そう！」

（２）同封の署名用紙およびチラシ数　　　各　«枚数»　枚

（３）署名のしかた

お１人に１枚(５筆分)配布していただき、できましたら家族署名(代筆も可)もお願いします。

（４）期　日

１１月○○日（○)までにお願いします。

（５）問い合わせ先

山口県立○○学校　　教職員代表　○　○　○　○　　（TEL:　　　　　　　　　）